

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【公開番号】特開2017-112667(P2017-112667A)

【公開日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2015-243673(P2015-243673)

【国際特許分類】

H 0 2 B 1/20 (2006.01)

【F I】

H 0 2 B 1/20 C

H 0 2 B 1/20 N

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月1日 (2018.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

並設される 3 相導体が貫通され、これらの導体を互いに絶縁して支持する導体支持部材を備え、前記導体支持部材を上下に並べて使用するスイッチギヤにおいて、前記導体支持部材の上下端の一方から導体貫通用の開口部までの距離と、前記導体支持部材の上下端の他方から前記導体貫通用の開口部までの距離とを異ならせるとともに、前記導体支持部材における取付個所または位置決め個所の位置を前記導体支持部材が上下反転した状態で取付可能に設定したことを特徴とするスイッチギヤ。

【請求項 2】

前記導体支持部材に前記 3 相導体が貫通する端子用開口部が形成され、前記端子用開口部は左右方向にスロット状に開口していることを特徴とする請求項 1 に記載のスイッチギヤ。

【請求項 3】

前記導体支持部材において左右に並べて設けられた 3 相回路の R , T 相用の端子用開口部の左右幅寸法は、前記導体支持部材の中央に設けられた 3 相回路の S 相用の端子用開口部の左右幅寸法より大きく設定されていることを特徴とする請求項 2 に記載のスイッチギヤ。

【請求項 4】

前記導体支持部材に前記導体支持部材取付個所としての固定用の孔と前記位置決め個所としての位置決め用突起を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載のスイッチギヤ。

【請求項 5】

前記固定用の孔と前記位置決め用突起が前記導体支持部材を正面から見た時に対角に設けられていることを特徴とする請求項 4 に記載のスイッチギヤ。